

森ノ宮医療大学大学祭『森ノ港祭』で地域交流

森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科助教 三木屋良輔

去る10月25日、26日の両日、森ノ宮医療大学コスモキャンパスにおきまして第2回大学祭～森ノ港祭～を開催しました。主なイベントとして24日には前夜祭、26日には模擬店、トレーナー講演会、健康体力測定、お灸体験コーナー、軽音ライブ、ステージ企画などを行いました。



前夜祭では、学生主体の企画としてカラオケ大会予選やダンスが行われ、最高に盛り上がりました。本祭は、当日の天候

が雨模様であったせいもあり、昨年度よりはやや少なかったものの健康体力測定やお灸体験コーナーに多くの地域住民の方々が来学されました。

大学祭の準備にあたっては、夏前から学生を主体とした実行委員会を組織し、企画から実施にいたるまで学生が中心となって取り組んできましたが、組織的な運営についてはまだまだ指導が必要であるというのが実感です。2009年度の大学祭はより大学生としての自覚と責任を持って取り組みさらに学生主体の大学祭になるよう、そしてさらなる地域交流、学生育成の場となることを期待します。



「さんフェア大阪 2008」に出展

去る11月2・3日の両日、アジア太平洋トレードセンター・ATCホールをメイン会場に、第18回全国産業教育フェア大阪大会（通称さんフェア大阪2008）が開催され、森ノ宮医療大学も出展し、鍼灸学科・理学療法学科をPRしました。



このフェアは、産学協同の取り組みの一つとして学生・生

徒が日頃の学習成果を発表し、地域と産業の活性化・振興を図ることを目的とするもので、小学生から大学生、保護者、教職員、産業関係者と幅広い層にわたって多くの見学者が訪れます。

本学のブースには、看板娘ならぬ看板経絡人形やはりきゅうミュージアムのパネル展示に多くの方々立ち止まり、特に高校生対象のミニツボ講座は好評でした。また、理学療法学科の上田喜敏先生による医療福祉工学についての研究紹介にも、多くの方が目を止めるなどPR効果は上々でした。

NTT ドコモ関西ラグビー部トレーナー見学

現在、森ノ宮医療大学の2年生（希望者）がNTTドコモ関西ラグビー部・レッドハリケーンズのトレーナー見学を行っています。同部は日本でもトップクラスのチームの1つであり、大学から歩いて約10分の距離にあるグラウンドで練習されています。学生にとっては本格的な現場を体験することができることあって、皆、意欲的に取り組んでいます。

「普段関わることのできないトップクラスの選手との交

流がなによりも新鮮で、今までにない貴重な経験になっています。またプロのスポーツトレーナーの方々が選手のパフォーマンス向上のためにいかに多くのことを行っているかを間近で見て、その責任の重さを感じています。」（鍼灸学科3年生 櫛引翔太）



トピックス

■吉田美智子先生の体育の授業では、WTC最上階、約250mから大阪の街並みを見下ろしてエアロピクス！



■「クリーンおおさか2008」として、11月6日に鍼灸学科、10日に理学療法学科の学生と教職員が大学周辺地域を清掃しました。ちなみに専門学校では1日に本校舎周辺～森ノ宮駅周辺を清掃。

